

平成 29 年 9 月 27 日

医療用医薬品の流通改善に関する懇談会委員 殿

厚生労働省医政局経済課

拝啓 仲秋の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

医療用医薬品の流通改善に関する懇談会では、日頃より格別のご高配を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、医療用医薬品の流通実態に関するデータにつきましては、5月に開催した懇談会にて平成28年度上期の状況をご報告させていただきましたが、この度、下期も含めた平成28年度通期分のデータを別添のとおり取りまとめましたので、同封させていただきます。

なお、データの概要につきましては、参考までに以下のとおり記載しております。

まずは、書面にてご報告まで申し上げます。

敬具

【平成28年度医療用医薬品の流通実態に関するデータの概要】

●平成28年度上期のデータと比較して、ほぼ同様の傾向であるが、個別にみると次のとおり。

「医療機関・薬局区分別妥結率推移」

・平成29年3月の妥結率は、薬価改定1年目の前回平成26年度と同様、概ね100%近い妥結率となっております。

「単品単価取引の状況」

・単品単価取引については、200床以上の病院は、前年度と比較して5.1ポイント増加、一方、20店舗以上の調剤薬局チェーンは、前年度と比較して2.2ポイント減少しています。

「各種水準の推移」

・仕切価率、割戻し・アローアンス率及び納入価率については、概ね、例年と同様の傾向となっております。

「売上構成比の推移」

・概ね、例年と同様の傾向である長期収載品の減少と後発品の増加等となっています。平成 27 年度は、C 型肝炎治療薬等の影響で「特許品・その他」の割合が伸びたと考えられますが、平成 28 年度は減少しています。

(連絡先)

厚生労働省医政局経済課流通指導室

流通指導官 金子 健太郎

TEL:03-5253-1111 (内線) 2598

平成28年度の流通実態

厚生労働省

医療機関・薬局区別妥結率推移

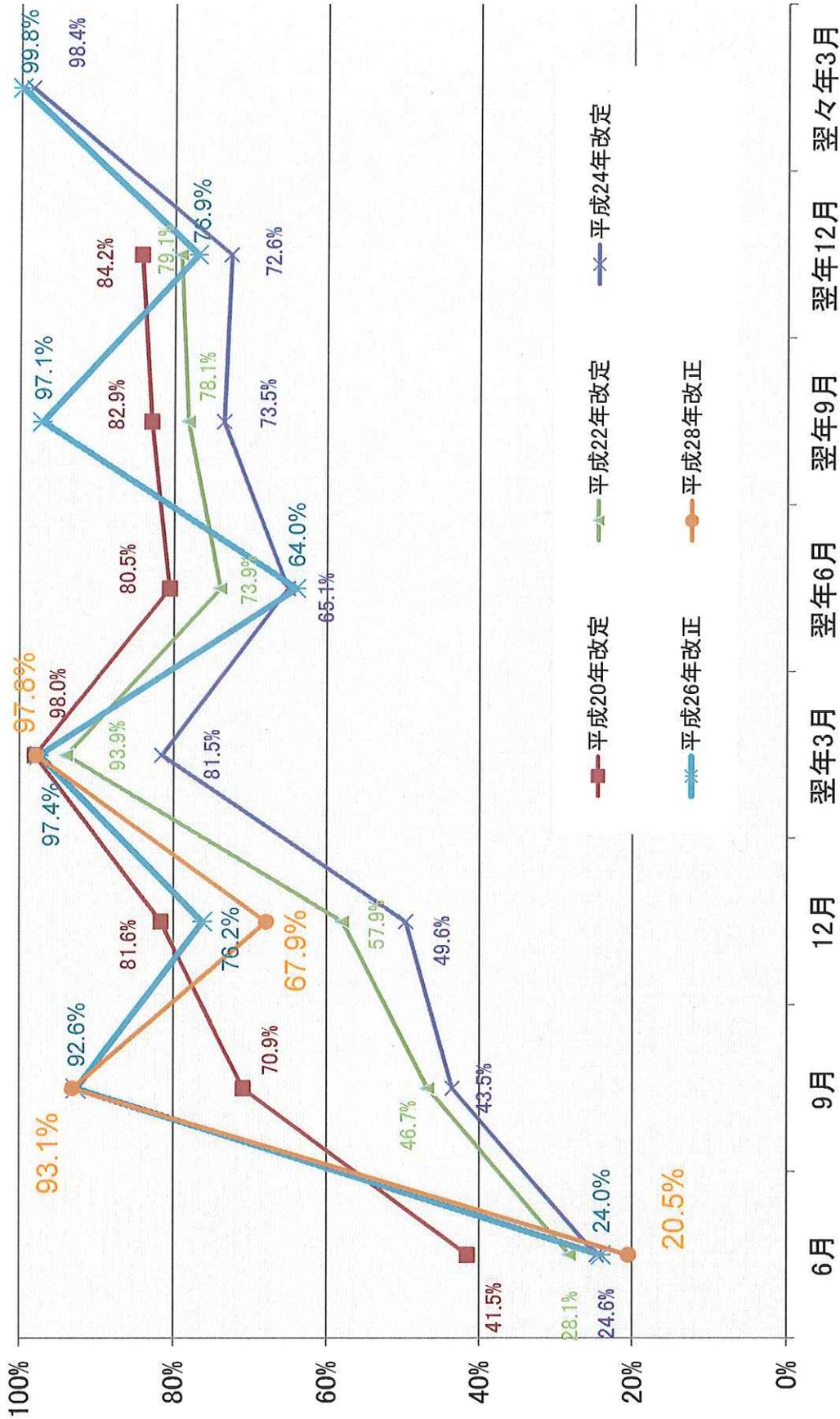
(単位：%)

	妥 結 率											
	平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	H28.6	H28.9	H28.12	H29.3
病院 (総計)	20.2	88.9	60.7	97.4	45.5	94.3	61.4	99.6	20.3	90.3	49.4	99.1
200床以上	19.3	93.9	58.5	97.4	37.8	95.5	56.5	99.6	19.7	95.3	45.5	99.2
その他	23.5	69.5	69.6	97.6	78.5	89.3	83.4	99.7	23.5	66.6	68.1	98.9
診療所	50.9	80.4	86.5	98.9	93.3	97.8	95.6	99.9	49.1	82.3	86.6	98.9
(医療機関 計)	30.4	86.0	69.2	97.9	61.4	95.4	71.7	99.7	29.3	87.8	60.6	99.1
チェーン薬局 (20店舗以上)	19.0	96.7	67.8	94.2	35.2	97.0	64.5	100.0	6.3	96.4	52.0	93.5
その他の薬局	18.6	98.7	88.4	98.1	80.6	99.0	89.1	100.0	17.2	98.0	85.7	98.7
(保険薬局 計)	18.7	98.1	82.1	96.9	66.0	98.4	80.9	100.0	13.4	97.5	73.8	96.9
総 合 社	24.0	92.6	76.2	97.4	64.0	97.1	76.9	99.8	20.5	93.1	67.9	97.8

* その他の薬局には20店舗未満のチェーン薬局を含む。

妥結率の推移

(平成20-21, 22-23, 24-25, 26-27, 28-29年度)

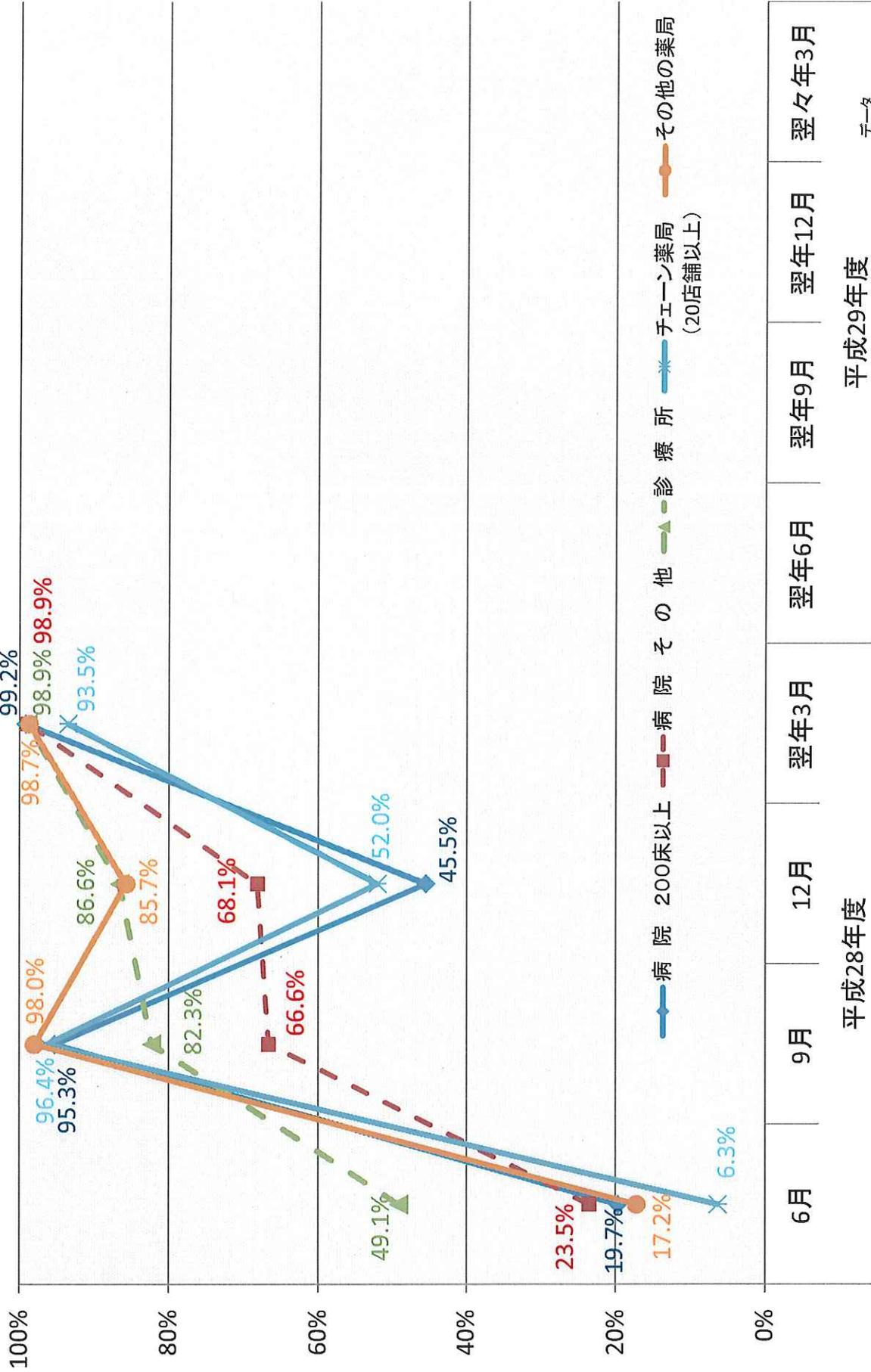


データ
厚生労働省

(注) 「翌々年3月」については、平成24年度、平成26年度改定分においてのみ実施

妥結率の推移

(平成28-29年度 医療機関・薬局区分別)



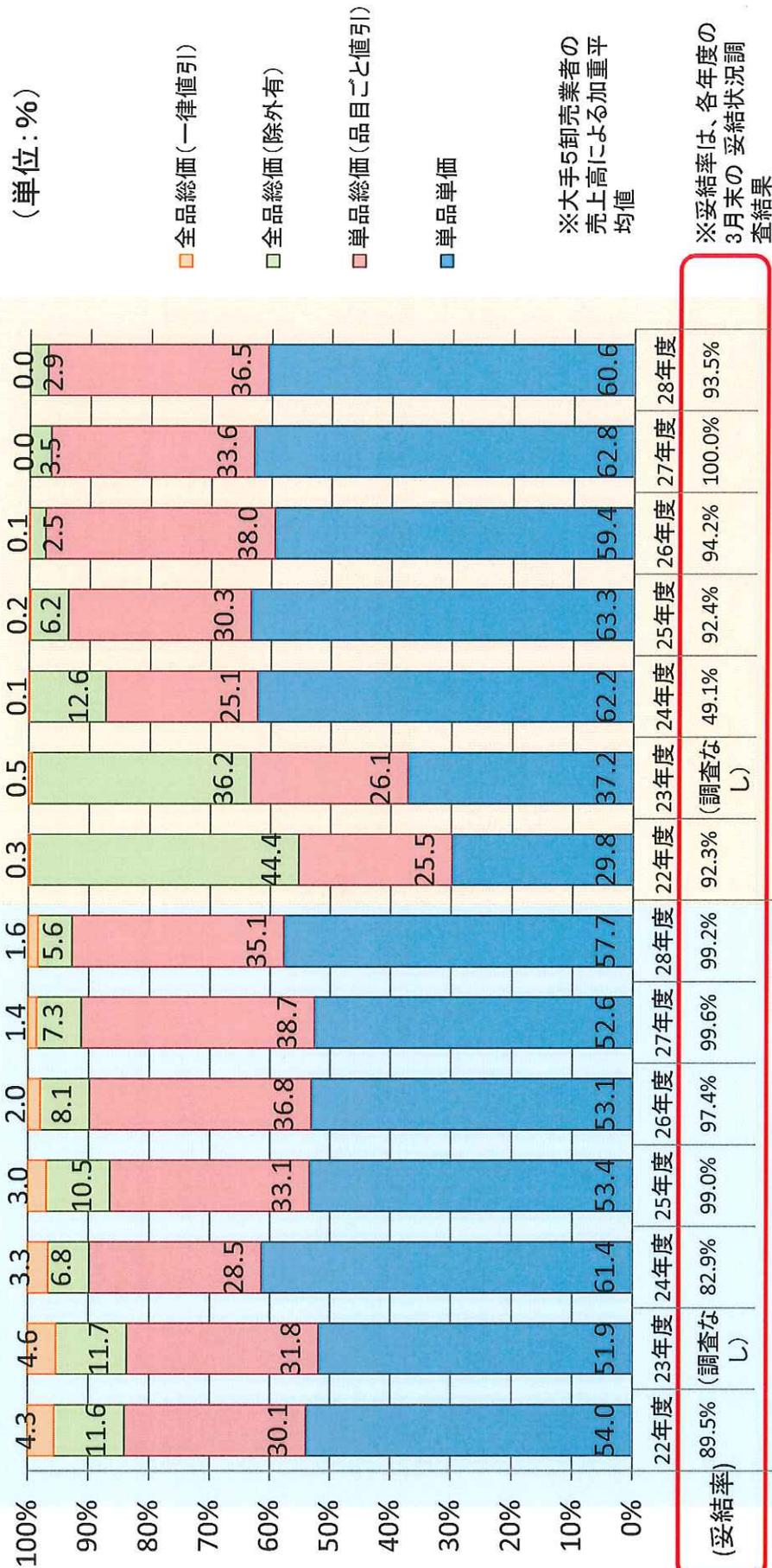
平成28年度

平成29年度

単品単価取引の状況

単品単価取引については、

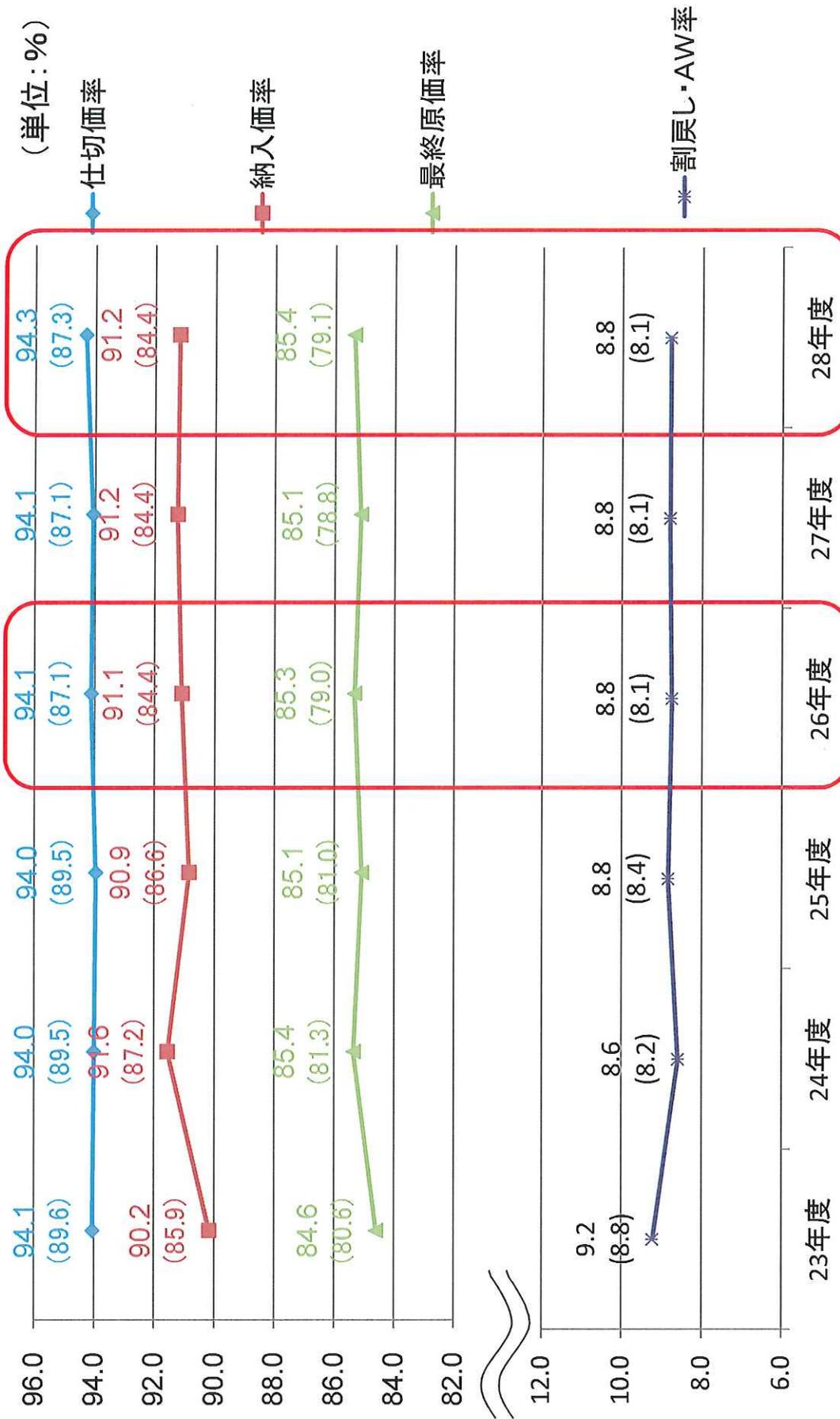
- 200床以上の病院は、前年度と比較して増加。26年度と比較しても増加。
- チェーン薬局(20店舗以上)は、前年度と比較して減少。26年度と比較して増加。



200床以上の病院

調剤薬局チェーン(20店舗以上)

各種水準の推移

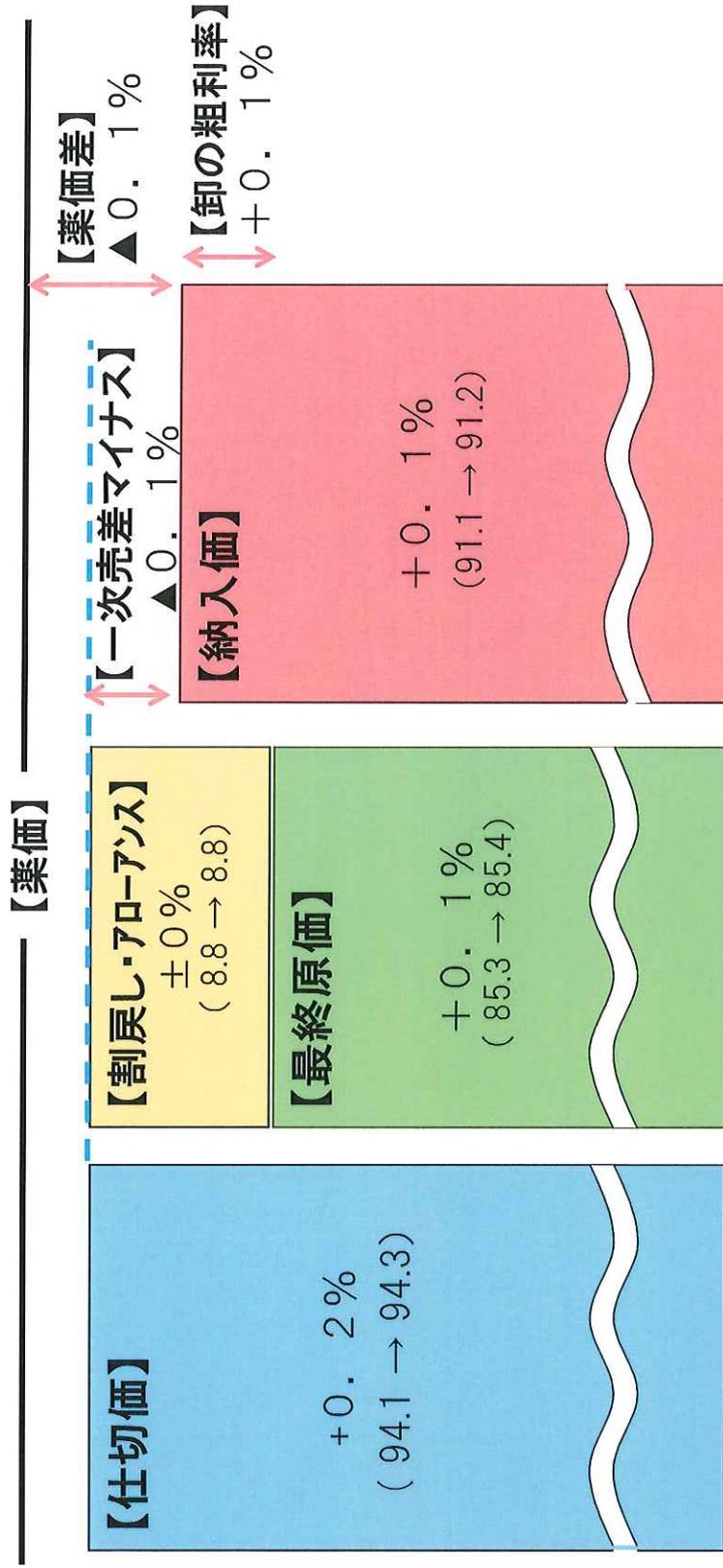


* グラフの数値は、薬価を100としたときの税抜の水準に105/100(26年度以降は108/100)を乗じたもの(単位：%)
 ()内は薬価を100としたときの税抜の水準

【データ】 大手5卸売業者ごとにそれぞれの取扱全品目の加重平均値を算出し、さらに、その5つの算出値を単純平均した値
 小数点第2位を四捨五入

各種水準の26年度と28年度の比較

- 「仕切価」は、若干上昇
- 「割戻し・アローアンス」は、変わらず
- 「最終原価」、「納入価」は、若干上昇し、「一次売差マイナス」は若干拡大
- 「卸の粗利率」は若干拡大し、「薬価差」は若干縮小



* 図中の数値は、薬価を100としたときの税込の各種水準の26年度と28年度の差

【データ】大手5卸売業者ごとにそれぞれの取扱全品目の加重平均値を算出し、さらに、その5つの算出値を単純平均した値
小数点第2位を四捨五入

売上構成比の推移

- 傾向として、「新薬加算品」、「後発品」が増加し、「長期収載品」が減少
- 28年度の特徵として「特許品・その他」が減少

(単位: %)

